

横浜市立池上学校 平成29年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
育てる子ども像	
○自分の思いや考えを、自分の言葉で、自信をもって表現する子 ○自分で判断し、行動する子	
☆自分づくり教育の充実（みんなと協力する・自ら考えて行動する・自分を知る）	
☆読書を通し語彙を増やし、言葉の力をつけ、コミュニケーション能力を育成する。	
☆挨拶・返事・立腰の姿勢を柱とし、よい生活習慣を身に付ける。	
☆学級・学年・異学年・中学校・幼稚園・保育園・地域や人や自然とのふれ合いや栽培活動を通した、学びの場や交流の場を設定する。	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

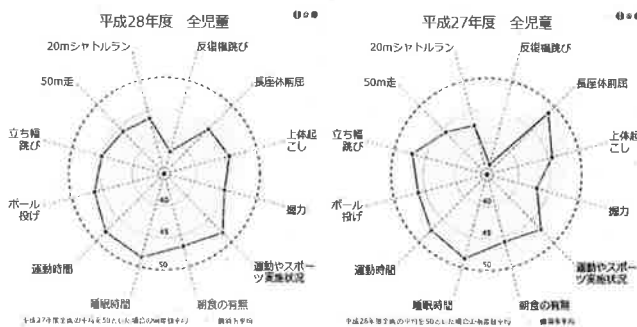
重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	学校保健委員会が中心となり、児童の健康課題を明らかにし、自ら健康生活を実践できる子どもを育てる。	①体力テストの結果をもとにした、体力向上1校1実践運動の促進を図る。 ②今年度のテーマを「立腰で心も体も元気アップ大作戦」とし、体幹を鍛えていくことで、よりよい生活習慣の意識付けを図る。 ③体力テストの結果等を保護者と共有するなど、家庭や地域と連携して体力の向上、生活習慣の改善を図る。
担当	学校保健委員会	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・市の平均に比べ、朝食の摂取率が低い。昨年度テーマにもあった「早寝、早起き、朝ごはん」を意識した児童もいて、摂取量は増えてきている。
- ・地域に外遊びができる空間が少なく、外で思いっきり体を動かす習慣が身に付いているとは言えない。
- ・1校1実践運動の取組の様子をみると、楽しみにしながらしっかり取り組んでいる子どもがほとんどであるが、体力アップ週間などの期間が終わってしまうと運動に取り組む児童が減ってしまう。

(2) 体力の概要と要因の分析（小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用）



新体力テストの結果から、ほとんどの項目が全国平均、市平均より低い記録が出ている。特に反復横とび、握力、立腰起こしについては、大きく下回っている。これは身近なところに十分に運動できる場所が少なく、運動時間や、運動・スポーツ実施状況が低いことが影響していると思われる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科での取組》

- ・低・中・高の6年間+中学校3年間の計9年間の系統性を大切にしたカリキュラムをもとに、児童のスキルや学び方が定着、向上するように指導の一貫性を図っている。

《他教科での取組》

- ・家庭科や総合的な学習の時間では食育との関係を図る。
- ・生活科、理科では身体の仕組みを学ぶ。

道徳・特活・総合

- ・運動会では、体育科で培った資質能力を発表する。また縦割りグループで活動するようにして各学年に応じた目標をもって活動に取り組めるようにする。
- ・運動委員会では、池上小の児童が進んで運動に取り組めるように、体力向上につながるような活動を企画したり、体育用具の貸し出しをしたりするなどの活動に取り組む。
- ・保健委員会では、池上小の児童が健康を意識して生活できるように、手洗い用せっけんの交換などの常時活動に取り組む。
- ・全児童が学習に取り組む姿勢として「立腰」の姿勢を意識できるように年間通して指導する。

課外活動

- ・夏休み水泳教室
- ・ライフネットスポーツクラブと提携して行う区球技大会
- ・はみがき検査

平成29年度 池上学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 朝スポを通して運動の習慣化を図る

《ねらい》 運動機会の確保し、継続して運動に取り組めるようにする。

《内容》 始業前の時間を活用して全児童が運動に取り組める機会を設定する。

(基本活動) 長縄(登校班ごと)、マラソンなど

(運動会前) 運動会用の準備運動や整理運動など

(菅田マラソン前) マラソン

●指 標： ①定期的(学期に1回程度)に長縄大会を行ったり、段階別のカードを用いるなどして自分たちの成長を振り返る。

②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」から検証する。

※体育・健康プランは学校全体の体育・健康に関する指導の全体計画であり、体力向上の取組である「体力向上1校1実践運動」はその一部です。

※体力向上1校1実践運動の取組については、学校ホームページに記載してください。

<参考> 学習指導要領総則 「学校における体育・健康に関する指導は、児童(生徒)の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。」